



財団法人東海技術センターが行った測定検査の風景

## フルハシ環境総合研究所

# 放射線コンサル提案

## 測定専門法人と提携

### 汚染問題 拡大に対応 仲介年100件狙う

環境経営コンサルティンクのフルハシ環境総合研究所(本社名古屋市中区金山1、浅井豊司社長)は、財団法人東海技術センターと業務提携し、東海地区における放射線に関するコンサルティンク業務を2月から開始する。放射線の測定を希望する企業や農家などをセンターに仲介するほか、セミナーを開催する。海外で日本製工業製品から放射線が検出され、輸出入が滞るケースが散見されるなど、放射線の汚染問題が長期拡大化している。今後、企業などからの検査ニーズが高まると判断した。仲介件数は向こう1年で100件を見込む。(山田悠)

フルハシは、既存の後、放射線に関するセンターのスタッフを迎え、取引先や一般企業、農家などにDMを送付するなどして、放射線の検査ニーズを掘り起こす。検査を希望する企業を東海技術センターに紹介する。検査料金は1検体2万円。検査対象は、食品から工業製品まで幅広い。また、フルハシは今

る。東日本大震災による放射線汚染問題は拡大長期化している。フルハシは、東海地区企業の事業活動において一定の不安材料になっている、とみている。フルハシの創業は2001年。企業の環境経営支援や環境教育事業を展開する。バイオマス燃料を製

造するフルハシEPOは1971年。水質や(本社名古屋市中区)の土壌、廃棄物の汚染物ループ会社。一方、東海地区の測定分析を手がける。海技術センターの設立。